

オツネトンボ

(アオイトトンボ科オツネトンボ属)

ヨーロッパ、ロシア、中央アジア、中国、朝鮮半島および日本の北海道、本州、四国、九州北部に分布しています。日本では多数の都道府県で絶滅危惧種に指定されています。



トンボでは珍しい成虫越冬

オツネトンボ（越年蜻蛉）は夏に羽化した成虫が未熟なまま越冬し、翌年の春に成熟し、交尾・産卵をおこないます。成虫越冬するトンボは日本にはオツネトンボ・ホソミオツネトンボ・ホソミイトトンボの3種類しかいません。

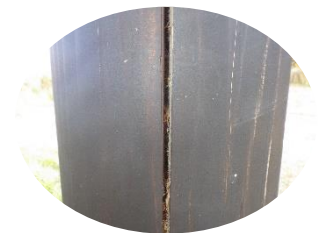
こんなところで越冬しているかも？



木の皮の下



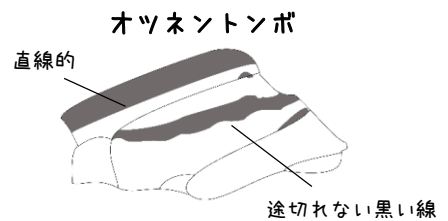
丸太や枝が集まっているところ



人工物の隙間

オツネトンボとホソミオツネトンボ

裏磐梯では成虫越冬するトンボのうち、オツネトンボとホソミオツネトンボが確認されています。2種はよく似ているのですが、胸の側面の模様などで見分けることができます。



ホソミオツネトンボ

